

学会ニュースNo.105 トピックス

- ・2012年度(第67回)総会・研究発表大会プログラム
- ・立正地理学会研究委員会の募集(新規)
- ・お詫びと訂正(学会ニュースNo.104)
- ・会費納入のお願い

会 告

○2012 年度(第 67 回)総会・研究発表プログラム

日 時:2012 年 6 月 2 日(土)10:00 より

会 場:立正大学熊谷校舎アカデミックキューブ 2 階
A205 教室(発表会場)・A204 教室(会員控室)

- 《**口頭発表1**》 10:00~11:20 *は発表者 発表時間:口頭発表 20 分(質疑応答を含む)
- 10:00~10:20 神田道男(立正大・院):妙正寺川流域の土地利用の変化過程
- 10:20~10:40 岡田 登(太田市役所):伊勢崎市における土地持ち非農家の存続形態
- 10:40~11:00 荒井順也(立正大・院):新潟県三条市保内地区における植木産業の発展過程
- 11:00~11:20 岩動志乃夫(東北学院大):仙台市における登米市物産直売所の運営特性と仕入れ形態

《**ポスター発表紹介**》 11:20~11:30(各発表 1 分程度)

※掲示時間は 10:00~16:00, コアタイムは 13:10~13:40 とします。

- P1 菊地郁恵(立正大・卒)*・原美登里(立正大):福島県南会津町における水利用形態
- P2 河野 忠(立正大)*・鶴岡美保(立正大・卒):デジタルカメラを用いた水色の研究とその問題点
- P3 崎浜 靖(沖縄国際大)*・鈴木厚志(立正大):近代宮古島におけるマラリア有病地の空間表現
- P4 重田祥範*・渡来 靖・中川清隆(立正大):埼玉県熊谷市およびその周辺における気温分布の地理的特徴
- P5 多田統一(都立浅草高校・非):日本の原子力研究
- P6 谷口智雅*・宮岡邦任(三重大)・溝口晃之(愛知県立津島高校)・大八木英夫(日本大)・西部めぐみ(豊田市史資料調査会)・大八木麻希(愛知工業大):豊田市伊保川の流下にとまなう流量・水質の変化
- P7 戸田真夏(青山学院大・非)*・元木理寿(常磐大):簡易な方法による「放射線汚染マップ」の作成例

《**総会**》 11:30~12:20 研究発表大会会場で行います。
田中啓爾記念地理学奨励賞授与式

《昼休み》 12:20～13:10

《ポスター発表のコアタイム》 13:10～13:40

《口頭発表 2》 13:40～14:40

13:40～14:00 戸田真夏(青山学院大・非):ネパール、トリスリ川上流域における集落立地と地形との関係

14:00～14:20 小川滋之(日本地図センター):本州中部低標高の地すべり地にカバノキ属樹木が分布する要因

14:20～14:40 酒井拓明(立正大・院):阿賀野川中流域における清水環境の類型化

<10分 休憩>

《口頭発表 3》 14:50～15:50

14:50～15:10 河野 忠(立正大)*・杉村友惟(ジオサーフ(株)):歴史上の人物にまつわる茶の湯水の分布とその水質について

15:10～15:30 重見之雄:第2次製塩地整理覚え書き(その6)ー広島県尾道塩田の場合ー

15:30～15:50 谷口智雅*・朴恵淑(三重大):大学教養教育とユネスコスクールによる環境教育実践

<10分 休憩>

《口頭発表 4》 16:00～17:00

16:00～16:20 元木理寿(常磐大)*・戸田真夏(青山学院大・非):教育現場における放射線量計測とその影響

16:20～16:40 渡辺 拓(ボランティア団体ふくしまヒマワリ育成計画):福島県の放射能汚染

16:40～17:00 初澤敏生(福島大):福島県南相馬市原町地域における東日本大震災後の商業・サービス業の課題

《懇親会》 17:10～19:00 学生食堂(ステラ)で行います。

《地理写真展示》 ※掲示時間は 10:00～16:00

G1 島津 弘(立正大):ドナウ川を下る

G2 島津 弘(立正大):変化するウィーン

G3 多田統一(都立浅草高校・非):研究所めぐりー原子力関連ー

G4 原美登里(立正大)・菊地郁恵(立正大・卒)・中里聡一郎(JA 水戸):福島県南会津町における 2011 年新潟・福島豪雨による被害状況

G5 山田淳一(立正大・非):岩手県大船渡市の津波被災地における 1 年間の復興過程

G6 鈴木重雄(立正大):湖に囲まれた耕作地ー琵琶湖の内湖に浮かぶ島ー

(集会委員会)

○立正地理学会研究委員会の募集(新規)

2012年度の研究委員会を募集します。希望者は下記に示した「立正地理学会研究委員会に関する規程」を熟読の上、規程5の内容を明記した趣旨書を、立正地理学教室長坂副常任委員長あて(住所等は最終ページに記載してあります)に郵送で提出してください。7月15日(日)を締切日(必着)といたします。ただし、研究委員は本学会会員に限ります。複数の応募があった場合は調整いたします。

「放射性物質局地的汚染」研究委員会が、2012年度継続申請されております。

立正地理学会研究委員会に関する規程

1. 委員会の設置:立正地理学会に、研究委員会をおくことができる。
2. 目的:研究委員会は、地理学の研究・教育に資する成果を挙げることを目的とし、その調査・研究に対して、学会より研究費を補助する。
3. 委員会の所轄:研究委員会の募集・決定・審査・成果の開示等に関する一連の管轄は、副常任委員長が行う。
4. 募集の説明:副常任委員長は、当該年度の総会時において募集内容・提出期限について説明する。
5. 委員会の設立:委員会の設置を希望する会員は、委員会の代表者となり、研究テーマ、会員名(5名以上で組織する)、募集人員、研究期間、研究の目的、予測される成果を明記して、副常任委員長に提出する。
6. 委員会の募集:副常任委員長は、提出された代表者名、研究テーマ、研究期間、募集人員等を学会ニュース、学会ホームページに掲載し、委員を募集する。
7. 委員会の成立:副常任委員長は、会員の応募状況をもとに委員会の成立の可否を検討し、その成果を代表者に伝える。
8. 委員会の発足:成立をみた委員会は、代表者が中心となって活動を行う。
9. 委員会の年限:委員会の活動期間は2年とする。ただし、その後1年間の延長を可とする。その場合、委員会の代表者は研究の中間報告書と延長する理由書を、副常任委員長に提出しなければならない。
10. 研究費は、1研究会に対して年額5万円を上限とする。
11. 会計報告:会計年度は、立正地理学会の会計年度に準じる。研究期間内の途中にあっては、当該年度の収支報告書に領収書を添えて、副常任委員長に提出しなければならない。
12. 委員会の終了:研究委員会の終了時には、終了報告書と領収書を添えた収支報告書を副常任委員長に提出しなければならない。
13. 成果の公表:研究委員会の活動中において、立正地理学会研究発表大会等において、中間報告を行うことが望ましい。なお、研究委員会終了後は、口頭発表のほか、『地域研究』にその成果を投稿するものとする。

(副常任委員長 長坂政信)

○お詫びと訂正

学会ニュースNo.104の5ページの第108回臨地研究会(福島)報告に誤りがございました。関係者の皆様へご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びし、ここに訂正させていただきます。

(誤)阿子島功会員 → (正)阿子島功先生

(誤)福島第二原発 → (正)福島第一原発

(集会委員会)

○会費納入のお願い

2012年度分の会費は、同封致しました払込取扱票にてご納入いただくか、立正地理学会総会・研究発表大会当日に、受付にて納入いただきたく存じます。また、今回の学会ニュースには「会費納入状況のお知らせ」を同封しましたのでご確認いただき、過年度分の会費が未納の方は、あわせてご納入下さい。会費の金額および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000円 学生会員 2,500円
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下のとおりとなります。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッショウチリガクカイ

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際は、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。

(庶務会計委員会)

編集後記

桜の季節も終わり、青葉と日差しのまぶしい季節が、熊谷キャンパスに訪れつつあります。来月の研究発表大会では、多くの会員の皆様に広報委員よりインタビューをさせて頂きたく存じます。その際には、ぜひご協力頂けますよう、よろしくお願ひします。また、皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

(広報委員・酒井 拓明)

立正地理学会ニュース No.105

2012年5月12日発行 編集者 立正地理学会広報委員会
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内
電話 048-539-1672 振替 00130-8-13453